

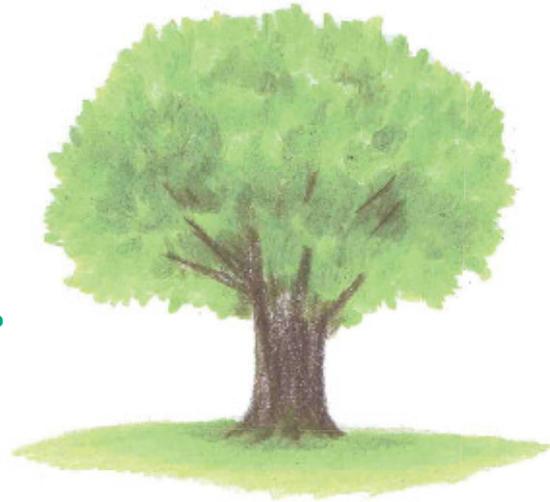


SSKP

社会福祉法人けやきの杜 広報委員会

けやきの杜

Vol.94 2018年 秋号



けやきフエスタ特集
～ 伝える ～

けやきフェスタ開催のご報告

9月22日（土）、第17回けやきフェスタを開催致しました。当日朝まで雨模様の中どうなる事かと思いましたが、開会式が始まる頃には雨も上がり、無事盛況を収める事が出来ました。足元が滑りやすい中ご来場下さりました地域の皆様・ご来賓の皆様、様々なイベントにご協力頂いた皆様、フェスタの趣旨に賛同し協賛頂いた企業の皆様、フェスタを盛り上げて頂いたボランティアの皆様等、多くの方々を支えられてフェスタを開催出来ました事厚く御礼申し上げます。

今年のけやきフェスタは、当初よりけやきフェスタの使命として法人が取り組んできた原点に立ち返るという意味も込めて、「伝える」をテーマに行いました。私たちの法人は希望園設立より30数年、障害のある方も高齢の方も地域で暮らし続けられることをモットーに様々な事業を展開してきました。その都度地域の皆様には私たちの活動にご理解を頂き快く受け入れて下さる中で、私たちも多くの方に利用して頂ける法人として一緒に成長して参りました。その感謝の気持ちを伝えたいという事が最初にけやきフェスタに込められた思いでした。

その後、私たちが伝えられることは他にもないかと考えて始めたのが、こども作文コンクール・吹奏楽部演奏等の子どもを主人公にしたイベントの開催でした。将来を担っていく子どもたちに、けやきフェスタを通して様々な触れ合いの中で、障害の事を当たり前のように感じ

て欲しいという思いで始めました。これから社会に出て様々な場所で活躍していく子どもたちにとって、けやきフェスタでの体験が何らかの形で役立つものであって欲しいと願い、様々なイベントに取り組んできました。

もう一つ私たちが取り組んできたのは、きちんと伝承していくという事でした。お陰様で法人は毎年新しい職員を迎えています。その職員たちに私たちの思いをきちんと伝え、継続していく事、これが社会福祉法人としての責務だと感じています。今年もけやきフェスタを職員一丸で取り組む事によって、次に繋げていきたいという思いをより深めてくれた事と思います。

けやきフェスタも今ではすっかり地域に定着し、多くの方々にご来場頂ける様になりました。参加して下さった全ての方がそれぞれ何かを感じて頂ければ、主催者として誠に喜ばしい限りです。今年も笑顔あふれる会場の雰囲気を感じ、達成できたのではないかと自負しております。

けやきフェスタに関わって下さった全ての皆様、本当に有難うございました。私たちは、これからも皆様と一緒に地域福祉の一層の発展に努めて参りたいと思います。

ワークセンター・さくら

吉廣 賢二



もくじ

けやきの杜 vol.94 2018年 秋号

- P2 けやきフェスタ開催のご報告
- P3 レポート オアシスキャンプ・ルーチェ活動日記・国分寺市障害者就労支援事業
- P4・P5 けやきフェスタ特集 ～伝える～
- P6 けやきの杜 事業所紹介「小規模多機能むさし」
- P7 気になる成年後見制度 第1回 法定後見制度
- P8 コラム・ライフネット報告・インフォメーション・編集後記

オアシスキャンプに行ってきました!!

こんにちは。
虹で支援員をしています飯田和正です。

今回、私は二泊三日で山梨県にある河口湖にてオアシスのご利用者と一緒にキャンプをして来ました。

一日目は河口湖にて、遊覧船に乗りロープウェイで山を登り山頂で、

ご利用者とソフトクリームを食べながら山頂からの景色を見て楽しみました。

夕食にはバーベキューをしました。

二日目は、水族館と富士急ハイランドに行きました。

水族館では、普段見られない魚をご利用者と觀賞し、富士急ハイランドでは一緒にジェットコースターに乗り、

とても思い出に残る時間を過ごすことができました。



最終日はぶどう狩りと温泉にきました。

疲れを癒しに温泉につかり、利用者と一緒にぶどうを狩り、お腹いっぱいぶどうを食べました。

そして最後にキャンプの時間を送ることができ、私自身とてもいい経験をすることができました。

(記：地域活動支援センター 虹 飯田和正)



放課後等デイ ルーチェの活動日記

8月21日：見学希望の抽選に応募し、幸運にも当選し、行って参りました。ロッセ狭山工場見学！

当日は子供達も超満員状態で、(申し込み多数)車3台に分かれての乗車で張り切って出発！も、時間の見積もりが甘く、工場に到着できたのは…元々の見学開始時間より30分オーバーでした。(工場見学担当の皆様、申し訳ありませんでした)：：が工場見学担当の皆様は、短くなつてしまった見学時間の中でも、とーっても「interesting」(他にこの気持ちの熱量を表現できる確かな単語が思い浮かびませんでした)な時間を過ごさせてくださいました。(あの方々は、プロでした) 普段は絶対に見られないお菓子の製造過程に皆興味津々。目の前で行われた「色素マジック」や「香り当てクイズ」では大盛り上がり！お土産も頂いて、にっこにこでした。大人も子供も楽しめる内容で(意外と大人の方が楽しいかも?)、「また来たい」との声が多数。(私もその1人です) また来年の夏も、幸運の神様が微笑んで、見学ができますように。(…ただ、中々当選しないのです、これが) ロッセ狭山工場の皆様、素敵な体験をありがとうございました！

(記：放課後等デイサービスルーチェ 加藤梨那)



天然紫キャベツ色素にクエン酸を加えると…あつという間に赤く変身!



お土産のひとつ、「ロッセコアラのマーチ」真ん中には可愛いルーチェコアラが!

国分寺市障害者就労支援事業 第10回障害者雇用セミナー

「働く」を実現する!!」を開催!!

cocobunji



ブラザリオンホールで鉄道情報システム株式会社 稲垣氏、企業に就職されている当事者の石田氏からご発表いただきました。企業報告では、障がい特性を考え、できるだけ小さな段階を踏んで、無理はさせず、理解して仕事をすすめているか確認しながら、少しずつ仕事を増やすといったこと。当事者様から、障がいを開示(オープン)にして働くこと。就労支援センターのサポートを受けること。積極的に発言や、やってみる大切さの報告をいただきました。セミナー参加者に、当事者、保護者、関係機関だけではなく企業の方もご参加いただきました。引き続き、啓発すると共に、障がいがある方々が長く安心して穏やかに仕事ができるよう支援をしていきたいと思います。



(記：国分寺市障害者就労支援センター 青柳忠義)



こげら太鼓様のオープニングセレモニー。迫力のある力強い演奏で、けやきフェスタは始まります。



今年度は高齢者体験や福祉体験を行い、子どもたちに高齢者の様子を体験してもらいました。



メインイベントの作文コンクール表彰式。国分寺市内のすべての小学校に協力していただき、392作品となりました。



開会式の井澤市長による挨拶。他にもたくさんの来賓の方にお越しいただきました。日本福祉教育専門学校による協力の手話通訳もありました。



東京農工大学からミニホースのアップルサイダーちゃんが来ました。人参のえさやり体験ができます。



射的やスーパーボールすくいなどたくさんのゲームイベントがありました。職員が作ったゆらゆらピンボールが好評でした。



模擬店ではやきとりをはじめ、焼きそばや綿菓子など11種類を販売。利用者の方も販売等の仕事をし、キッチンカーも来てくれました。



国分寺市立第十小学校吹奏楽部の演奏でした。毎年参加していただき、けやきフェスタを盛り上げてくれます。



睦月会様によるコーヒー販売です。他にもワークスコープ様の協力の下、福祉センターでもイベントを行いました。



新設した食彩工房プラスワンではボークカレーを販売。利用者の方が元気に売り込んでいます。



国際文化理容美容専門学校の方によるネイルアートやボディシール。たくさん子どもたちが参加していました。



けやきフェスタを行うにあたり地域の企業の方々より協賛広告を頂きました。今回はなんと42社から協力していただきました。



毎年参加していただいている、国分寺市立第九小学校のジュニアバンドによる素晴らしい演奏でした。



利用者の方々もけやきフェスタが楽しみ。模擬店やゲームイベントの仕事の合間にステージを観に来ました。



フェスタ恒例の「くじ引き」。今年のくじの本数は400本！一等はなかなかでませんでしたが、最後まで盛り上がりました。



「今年もけやきの杜はフェスティバル」

後の祭りというが、祭りの後は静かなもので慌ただしい日々が過ぎた後は、少し寂しさが残ります。これまで、けやきの杜では「地域の方に障がいを持つている方の事を理解してほしい」「地域の子どもたちに感謝を伝える」という思いで、けやきフェスタを行ってきました。そんな、フェスタも今年で17回目です。障がいを理解してもらい、地域の方々の支えにより、これまで迎える事ができました。10年後、20年後に誰もが住みやすい街にするため、これからも子どもたちにお越しいただきたいと思えます。

× 伝える ×

地域の皆様に支えられながら、現在では、たくさんの子どもたちや地域の方にお越しいただけるけやきフェスタに成長できました。そして、今年度のテーマは「伝える」です。地域の皆様に感謝を伝える・子どもたちに障がいの事を伝える。フェスタが初めての職員・利用者の方ども目的を共有して、未来へ繋げていく、そんな思いが込められています。小学校の吹奏楽演奏をはじめ作文コンクールや多くの協賛団体に協力いただき楽しいお祭りになりました。これからも、一番は子どもたちが笑顔で楽しめる、そんなフェスタでありたい。



けやきの杜 事業所紹介「小規模多機能むさし」

「小規模多機能むさし」は開設から丸3年が経過し、現在ではご利用者も24名となりました…と書き始めましたが、まだまだ小規模多機能（正式には小規模多機能型居宅介護）自体の認知度は低く、多くの皆様にとってなじみのあるサービスとは言いがたいかも知れません。この場をお借りしまして小規模多機能むさしについてご紹介、と申しますか、思うことを書かせていただきますのでお付き合いくださいませ。

小規模多機能型居宅介護とは、介護保険制度における地域密着型サービスのひとつであり、『通所（デイサービス）』、『訪問（ホームヘルプ）』、『宿泊（ショートステイ）』を一体的に提供できる事業なのです。例えば、「週に2回はデイサービスに通って、別の日には自宅でホームヘルプを利用、そして週末にはショートステイ」といったように、「ご利用者のニーズに応じて柔軟かつ総合的にサービスを提供することができます。」

つまり、通所も訪問も宿泊も同じ事業所が提供しますので、「利用者にとっては」施設でも自宅でも、自分のことを良く知っている顔なじみのスタッフからサービスを受けられるので安心」とご好評をいただいています。

また、ご家族にとっては利用料が月額定額制であること、突発的な利用や、利用時間の短縮・延長にも可能な限り対応できることなども安心いただけるポイントだと思います。

ただし、小規模多機能を利用する場合、福祉用具と訪問看護サービスを除く他の事業所の介護サービスは併用できません。

このように、きめ細やかなサービスを柔軟に、そして一体的に提供できる小規模多機能は、高齢者

の地域生活（在宅での生活）継続には欠かせない事業であり、「誰もが暮らしやすい社会」創りを掲げるけやきの杜にとっては大いに意義のある事業だと考えます。

「小規模多機能は柔軟で臨機応変な対応」と、口にするのは容易ですが、現実としては職員が「臨機応変な勤務」をして献身的に業務に取り組んでいるからこそできることです。

また、むさしでは家庭の空気感を大切にしており、お風呂を例に挙げると、古き良き時代を思わせる



むさしのスタッフ一同
「日々、奮闘しながら頑張っております！」

と、古き良き時代を思わせるバの浴槽です。介護施設の浴室とは一線を画していますが、当然入浴の介護をする職員には大きな負担を掛けることになっていきます。その他の設備や環境面においてもベストな環境ではないかも知れませんが、その中で最大の工夫をし、より良いサービスを提供しようとする努力しているむさし職員には手前味噌ながら感謝しています。

この8月、むさしで看取り介護をさせていただいた方がご逝去されました。終末期にあたり、ご家族とは介護の計画について綿密にお話をさせていただき、ご本人が安らかな最期を迎えられるよう、職員一同できる限りのお手伝いをさせていただきましたが、至らぬ部分も少なからずあったと思います。職員もむさしとしては初めての看取りに様々な思いや自問自答があったかも知れません。

ご家族からは、「病院や医療設備の整っている環境であれば父はもっと生きられたのかも知れないが、病院ではもう口からの食事はできないので小規模多機能むさしに戻っても、またすぐに病院に来ることになると言われました。でも、むさしでは細心の注意を払って食事や水分を摂らせてもらい、亡くなる数日前まで口から食事ができた。私は父がむさしで最期を迎えることができたと本当に良かったと思っています」とおっしゃっていただき、改めて小規模多機能むさしが担う使命の重さと尊さに心が震えました。

私を含め、けやきの杜で障害者支援に長く取り組んできた職員にとっては、高齢者の介護の知見もなく、何やら違う分野のことと感じているかも知れません。

「作業」とか「就労」とか「自立生活」とか、ご利用者が様々な経験を通じて力を付けていくことを支援することにやり甲斐を感じている職員にとって、「死」という言葉は忌み嫌うものであり、あつて欲しいくない遠い存在で、深く考えること自体もないと思います。

しかし、障害の有無にかかわらず、年齢を重ねると誰しもが老い衰え、やがて死を迎えます。「死」の方とは、生き方である」という言葉を聞いたことがありますが、人生の終盤において、自分らしく充実した毎日を過ごすこと、そして、尊厳ある最期を迎えることができること、それは正に生き方だと思えますし、そのための支援も誰もが暮らしやすい社会に絶対に必要なものではないでしょうか。小規模多機能むさしを通じてその一端を担えることは、全ての職員とけやきの杜にとってかけがえのない財産になると考えます。

社会福祉法人けやきの杜 管理者 土井満春



私は近頃、特に利用者の方の加齢と生活状況の変化に直面し、成年後見制度の必要性を感じています。そこで、今回は分かりにくい制度の中でも、気になる視点に注目し、今回と次回（2回）に分けて、お伝えをして行きたいと思っております。

「利用状況の変化」

成年後見制度は2000年に施行され、早や18年経ちますが、約21万人の利用に止まり、これは潜在的な後見ニーズのわずか2%しか満たしておらず、今後も利用の増加が予想されています。

「後見人の選任状況」

制度施行当初は、親族を後見人に選ぶ方が91%を占めていましたが、単身世帯や身寄りのない高齢者世帯の増加に伴い、弁護士や司法書士などの専門職を後見人に選ぶ方が65%にまで増加しています。これらの要因として、親族後見人の不正行為の多さも一因だと指摘されています。

このように、ニーズはあるが利用されていない後見制度。一体、どのようなメリット・デメリットがあるのでしょうか。

「成年後見制度のメリット、デメリット」

メリット

- ・ 本人と財産管理と身上監護ができる
- ・ 取り消し権がある（保佐や補助は法律の規程や申し立ての範囲による）
- ・ 家庭裁判所が後見事務を監督する

私たちとしても、利用者の方の財産を預かっている所で、不正を防ぐこと、また、悪徳な業者や親族関係のトラブル時でも、公的機関が付いていることなど安心感があります。

デメリット

- ・ 親族のために本人の財産を支出しにくくなる
- ・ 手続きに時間と手間、費用がかかる
- ・ 通常本人がなくなるまで後見事務が続く
- ・ 後見事務が煩雑

「実態の中で感じる不安」

これらのデメリットを踏まえ、私たちが経験して来た中でも、後見人による不正で、後見人が変わるということがありました。

また、気を付けなければならぬ点として、後見人の方との連絡で、定期的な金銭出納帳の報告や契約行為の連絡が遅くなり、本人に不都合な状況を与えてしまいそうになりました。また、意思表示ができる方の制度利用として後見人ではなく、保佐人が適しているという状況にも直面しています。

これらの状況の中、私たちが注目しているのが、保佐人、任意後見、市民後見人制度ですが、これらの紹介は次号でさせて頂きたいと思えます。いずれにせよ、私たちも、もっと勉強をして、少しでも皆様のお力になっていきたいと思えますので、宜しくお願ひします。

※2013年、選挙権が成年後見制度で後見人が付いたものも、選挙権を一律に認める公職選挙法改正案が、国会で成立しております。

地域共同生活支援センター・キッピス
希望園 鈴木七重
姉崎憲児

相談してみてください

- ・ 本人が住んでいる区役所や市役所の窓口（福祉課）
- ・ 社会福祉協議会、家庭裁判所、
弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、
行政書士会などの専門機関窓口
- ・ 市民後見人制度の市民後見窓口

脇坂の出向「from」2 fromかたくりの会



新しく開設するグループホームの外観

お久しぶりです、脇坂です。時の経つのは早いもので、由木かたくりの会に出向してから1年が経とうとしています。今回は、この1年で私が何をしていたかをご報告しようと思います。

由木かたくりの会は、平成27年3月に初めてのグループホームを2寮開設しました。私は昨年の10月から、その部門の管理者をしております。管理者と言っても現場に入ることも多いんですが、そこはけやきの杜にいた時と変わってません(笑)。また、新しいグループホーム(5名×2ユニット)の準備をしておりました。この原稿を書いている時点(9月10日)では、まだ開設しておりませんが、準備も着々と進んでおりますので、10月1日には無事に開設できている…ハズです。

この1年で一番苦労したことは、何と言っても人を雇うことです。福祉の現場ではどこも似たような状況かと思えますが、由木かたくりの会でも募集はしてもなかなか人は来ず…。今回、新規GH開設にあたって特に人員が必要なので、現在も募集しているところです。誰か良い人がいたら紹介してください(笑)

個人情報紛失に係る再発防止について（ライフネット報告）

この度、社会福祉法人けやきの杜が国分寺市より受託し、法人内事業所「ライフネット」が実施しております障害者等移動支援事業にて、ご利用者様の個人情報紛失事故に関しまして、多大なご迷惑をお掛けしましたご利用者様、国分寺市及び関係の皆様にご心より深くお詫び申し上げます。

当法人は、再びこのような事を起こさぬよう、下記のとおり再発防止策を講じましたので、主要な点をご報告いたします。

1. 1)業務依頼書の改正及び業務依頼書運用の見直し
 - 1)業務依頼書の改正
平成30年4月依頼分より改善したものを利用しています。
 - 2)業務依頼書運用の見直し
従事後、速やかに事業所へ返却することとし、当日返却が難しい場合は、事業所へ来所する際に必ず返却するように周知徹底しています。返却の済んでいない従事者に連絡し返却を徹底しています。
2. 3)法人内全事業所での個人情報の取り扱いについて周知徹底
 - 1)「個人情報保護規程」について研修の実施を予定
「個人情報保護・情報セキュリティハンドブック(市作成)」を参考にしたレジメにて研修を実施します。
 - 2)4)従業者に対する個人情報管理に対する意識向上
「個人情報保護・情報セキュリティハンドブック(市作成)」を参考にした法人独自の「個人情報取扱いマニュアル」と「チェックシート」を作成し実施します。
3. 6. 緊急対応手順書の作成及び連絡体制の整備
 - 1)緊急対応手順書の作成
個人情報漏洩、個人情報紛失事故発生時の行政機関等への報告手順書を作成し、従業者に周知します。

けやきの杜に協力する会（平成30年7月～30年9月分）

協年会費の納入とご寄付ありがとうございます

【協年会費】（敬称略）

〔5口以上〕株式会社千代田防災／山本智文／南矢沢モーターズ／あさひ国際旅行株式会社／須崎進一〔2口以上〕大和通信機株式会社〔1口以上〕高田守／岡橋生幸／穴戸芳子／池谷敏子／高山美子／春口明朗／北原恵美／去来川富男／川島和義／有限会社栄組代表取締役 堀江隆行／中野泰博

【協年会寄付】（敬称略）

〔94,000円〕荒井東治〔10,000円〕株式会社日生〔5,000円〕株式会社北田設計事務所 代表取締役北田英和〔3,000円〕川島和義

○プルトップの収集にご協力いただいている皆様（敬称略）

国分寺市長野県人会、国分寺市赤十字奉仕団、国際文化理容美容専門学校国分寺校、佐藤和秋（戸倉）、スナック小藤（本町）、宍浅見畜産（本町）、タツミ建設(株) 永野喜一、増井品子（高円寺）、内藤享子（世田谷・赤堤）、津島圭子（新宿・セントラル）、(仮)NPO 法人緑の種【大串忠夫（葛飾区）、小谷豊、(株)プリモトラベル（千代田区神田）、オフィスマエダネゴ】、西本頼雄（大田区東雲谷4丁目）

編集後記

秋風たなびき、月影さやかなる今日この頃。紳士淑女の皆様方はいかがお過ごしでしょうか。こたび、こちらの梓の筆は、不肖加藤めが執らせて頂く次第です…とは申せど、後に記する小話を持てる程、広報誌作成に貢献したかと問われれば、迷わず首を横へと振ります。(加藤めがこなすべき任、他委員の方こと Mr『H』が請け負って下さる事態にすなりました…)まこと、面目ない。と、ここまでで幕引くが潔いかと知るも、「締めくくりは positive に」との上命により、無理に蛇足を絞り出し添え、仕舞いと致したく候。

「ルーチェの記事、ほんのり頑張って作りました！（主に顔隠し用のお面画像。）当日の楽しさが皆様に伝わりますように☆」（加藤）